

社会資本総合整備計画 中間評価シート  
長野駅東口周辺の住みたくなるまちへの再生

平成30年9月

長野県長野市

計画の名称	1 長野駅東口周辺の住みたくなるまちへの再生		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成30年度 (4年間)	交付対象	長野県長野市
計画の目標			

長野駅の東口周辺に位置する当地区は、立地する条件の良さから経済成長と共に無秩序な市街化が急速に進んだ地域であり、駅前広場や道路・公園等の公共施設整備の遅れ、密集木造住宅の存在など、生活環境の低下や防災上において支障を来している。  
 このため、土地区画整理事業により都市型利便性を生かした居住環境の整備を行うとともに都市防災対策の向上を図り、更には公園の整備により地域のコミュニティ形成を誘導する潤いあるまちづくりを促進し、住みたくなるまちへの再生を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・長野駅周辺第二土地区画整理区域内の人口を2,694人（H26）から2,700人（H30）に維持。
- ・長野駅周辺第二土地区画整理区域内の整備した街区公園の面積率を0.00%（H26）から1.49%（H30）に増加。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)							
① 土地区画整理区域内居住者人口の維持 住民基本台帳に登録されている人口	2,694人	2,700人	2,700人							
② 地域のコミュニティ形成を誘導する土地区画整理区域内の街区公園の整備面積率の増加 区域内における整備した街区公園面積率＝街区公園整備面積／施行区域面積	0.00%	1.16%	1.49%							
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	897.0百万円	A	897.0百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期 平成30年9月
長野市都市整備部市街地整備局において中間評価を実施	公表の方法 長野市ホームページに掲載、長野市都市整備部市街地整備局駅周辺整備課の窓口にて閲覧

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	H31		
A-1	市街地	一般	長野市	直接	長野市			長野駅周辺第二地区	区画整理 58.2ha	長野市						897.0	
小計(基幹事業)											897.0						
合計											897.0						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	H31			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
										合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業が進捗したことにより、安全で快適な都市基盤整備や良質な住宅地が整備され、居住者人口が増加した。</li> <li>・土地区画整理事業が進捗したことにより、公共用地率は着実に増加している。</li> </ul>									
II 定量的指標の達成状況	指標①（住民基本台帳に登録されている土地区画整理区域内居住者人口の維持）	中間目標値	2,700人	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業の進捗と共に、区画道路や街区公園が整備され、地区の利便性や居住環境が向上した。これら立地条件の良さから、大型マンションや住宅の建設が促進され、居住者人口は、目標を達成している。						
		中間実績値	2,797人 (H30.8.1)								
	指標②（土地区画整理区域内における街区公園の整備面積率の増加）	中間目標値	1.16%	目標値と実績値に差が出た要因			街区公園の整備は、計画どおり進捗し、目標を達成している。				
		中間実績値	1.165% (H30.3.31)								
		中間目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		中間実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における区画道路の整備により、狭隘道路や老朽密集住宅が解消し、良質な住宅地が形成された。防災機能も向上し、生活環境が著しく改善されている。</li> <li>・街区公園の整備により、地元住民の公園愛護会が組織され、地域のコミュニティ形成を誘導している。</li> </ul>									

## 3. 特記事項（今後の方針等）

長野駅周辺第二土地区画整理事業の早期完了。

- ・交渉難航者に対しては協議と並行して法的手段の準備を進め、事業に支障となる建物移転と公共施設整備を推進する。
- ・換地処分に向けた作業に着手し、長期間にわたっている土地区画整理事業の早期完了を図る。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	長野駅東口周辺の住みたくなるまちへの再生		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成30年度（4年間）	交付対象	長野県、長野市



長野駅東口周辺の住みたくなるまちへの再生  
A = 58.2 ha

凡例

- 基幹事業
- 関連社会資本整備事業
- 効果促進事業